

「租税教室」を活用し、くらしと税金を考える

南陽市立沖郷小学校教諭 大場 理之

実施年月日：平成29年1月25日～2月3日 24名

1 実践計画・指導のねらい

子どもたちは、税と言えはすぐに消費税と答えてくるが、ほかにどんな税金があるのか、学校や公共施設以外にどんなところに税金が使われているのかなど、税金については、あまり身近でないためよくわからなかった。今回、米沢法人会の皆様による租税教室が行われる機会に恵まれた。それを活用して、税金の種類や集め方、南陽市や山形県、国の税金の使い道などを調べることで、自分たちのくらしと税金との関わりを学び、未来の納税者として社会に目を向ける意識を高めていきたいと考えた。

2 単元構成・実際の指導状況

時間	学習内容	主な発問 (○)、子どもたちの反応 (●)、使用教材等 (□)
1	租税教室 ・米沢法人会の方の話を聞き、税金の大切さがわかる。	○ 税金は、どんなところに使われているのでしょうか。 ● 消費税。所得税。住民税。 ● 学校はもちろん、消防や警察、ゴミの収集にも使われている。 ● 病院の治療費や道路や橋の設置や修理にも使われている。 ● 税金がないと、どんなことでもお金がかかり、安心して暮らすことができなくなる。 ● 高校まで一人1100万円の税金が使われているんだ。 ● 1億円の札束は、重かった。 □使用教材名 税のビデオ「マリンとヤマト不思議な日曜日」
2	税金の種類と集め方 ・税金の種類と集め方を知る。	○ 税金にはどんな種類があって、どうやって集めるのだろうか。 ● 税金には、国税と地方税があり、また、直接税と間接税にも分けられる。 ● 国税には、所得税や消費税、法人税、酒税、たばこ税など。 ● 地方税は、住民税や固定資産税、自動車税、入湯税など ● 直接税には、所得税や住民税、固定資産税、自動車税など ● 間接税には、消費税や酒税、たばこ税、入湯税、関税など ● 税金は、物を買った時や住んでいる人、働いている人、土地や建物を持っている人から市役所や税務署に集められている。 □使用教材名「わたしたちのくらしと税金」



【指導のポイント】《1時間目》
 どんなことに税金が使われているか、いろいろな施設や建物のカードを子どもたちに配って、使われているものと使われていないものをクイズ形式で考えさせた。

【指導のポイント】《2時間目》
 50種類以上の税金から自分たちの生活に関わるものや授業で学習したものを提示した。特に近くに赤湯温泉があるので、入湯税を意識して提示した。これには子どもたちは驚いていた。

時間	学習内容	主な発問 (○)、子どもたちの反応 (●)、使用教材等 (□)
3	税金の使い方 ・南陽市や山形県、国で使われている税金を調べる。	○ 納められた税金はどのように使われているのだろうか。 ● 南陽市は収入の約80%が税金で、福祉や子育てに重点を置いて使っている。 ● 山形県は収入の約70%が税金で、教育に重点を置いて使っている。 ● 国は収入の約60%が税金で、福祉など社会保障に重点を置いて使っている。 ● 国は、約35%も借金している。 □使用教材名「わたしたちのくらしと税金」 南陽市報（平成28年度当初予算）
4	まとめ ・税金は、私たちが安全で豊かにくらすために使われていることがわかる。	○ わたしたちのくらしと税金との関わりをまとめよう。 ● 税金は、私たちが安全で豊かにくらすするために使われている。 ● 集められた税金は正しく使ってほしい。 □使用教材名 NHK番組「歴史にドキリ」(わたしたちのくらしと政治)



【指導のポイント】《3時間目》
 南陽市・山形県・国の予算を円グラフで表した資料を配り、収入や支出の項目を調べ、税金の割合や一番お金をかけている項目を調べさせた。

3 実践の成果 (◎) と課題 (◆)

- ◎ 子どもたちは、初め、消費税ぐらいしか税金の種類がわからなかったのが、所得税や住民税、酒税、入湯税など様々の種類があり、税金の集め方も給料から直接集めたり、様々なものを買う時に払ったりしていることを理解することができた。
- ◎ 学校や体育館などの建物だけでなく、学校に通ったり、病院にかかったり、道路の修理や信号機を設置したりなど、自分たちが安全で豊かに暮らしていくのに税金が使われていることを実感することができた。
- ◎ 市や県、国の収入で税金の占める割合や教育や福祉など予算をどんな項目に多く使われているのかを理解することができた。
- ◆ 予算の資料を活用したことで、税金がどんなことに使われているのかが捉えやすかったが、国の借金の割合が高いことの方に注目がいった。